

大阪脳神経外科病院

実施日：2026年1月9日（金）

講師：1名



受講者：50名



開催者の感想

院内で働くスタッフへ手指衛生に興味を持っていただくため、講習会を開催いたしました。普段は法定研修等で手指衛生の方法と合わせてハンドケアもアナウンスしておりましたが、ラウンド時やアンケートで手荒れに悩んでいるが我慢して勤務しているスタッフが多いことに気づき、ハンドケアの周知が必要と考え実施いたしました。3～10名程度の小規模なグループで複数回実施したところ、実技を通して普段のケアのポイントを学べたことや、乾燥度合いを定量的に確認することでハンドケアの必要性をより実感できたようで、参加者からも好評でした。

受講者の感想

- 乾燥肌で特に冬は手が荒れやすく、すぐにささくれができてしまうのですが、なぜささくれができるやすいかが講習で分かりました。また、傷があることで感染症へ大きく影響するということも改めて学んだので、今後のハンドケアに活かしていきたいと思います。
- 毎年、秋から春頃の時期は手、肘、膝、踵にかけての乾燥が酷く、特に手の甲や指先のひび割れやあかぎれに悩んでおります。ハンドクリームの塗布前後で水分量が大幅に変化したため大変驚きました。
- 手荒れ、肌荒れにおける雑菌の多さなど、今まであまり意識していなかったことをしっかりと学ぶことができました。保湿による水分量の違いが目に見えて分かったのですごく参考になりました。